

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年2月13日

【四半期会計期間】 第125期第3四半期(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

【会社名】 東ソー株式会社

【英訳名】 TOSOH CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗田 守

【本店の所在の場所】 山口県周南市開成町4560番地

【電話番号】 (0834)63-9801

【事務連絡者氏名】 経営管理室南陽経理課長 土家 崇

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝三丁目8番2号

【電話番号】 (03)5427-5123

【事務連絡者氏名】 経営管理室部長 仲田 修治

【縦覧に供する場所】 東ソー株式会社本社
(東京都港区芝三丁目8番2号)

東ソー株式会社大阪支店
(大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目4番9号)

東ソー株式会社名古屋支店
(愛知県名古屋市中区栄一丁目2番7号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第124期 第3四半期 連結累計期間	第125期 第3四半期 連結累計期間	第124期
会計期間	自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
売上高 (百万円)	794,586	747,889	1,064,376
経常利益 (百万円)	72,302	68,672	89,983
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	46,314	41,367	50,335
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	63,205	62,205	66,375
純資産額 (百万円)	792,139	829,334	794,198
総資産額 (百万円)	1,206,799	1,263,581	1,194,251
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	145.52	129.95	158.14
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	145.46	129.93	158.09
自己資本比率 (%)	61.1	60.8	61.9

回次	第124期 第3四半期 連結会計期間	第125期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日	自 2023年10月1日 至 2023年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	56.14	46.02

(注) 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の状況

総資産は、現金及び預金、有形固定資産、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ693億円増加し1兆2,636億円となりました。

負債は、引当金の減少等がありましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ342億円増加し4,342億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ351億円増加し8,293億円となりました。

(2) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における世界経済は、欧米先進国を中心としたインフレの高止まりと金融引き締め政策が継続し、中国ではゼロコロナ政策解除後の需要が期待ほど回復しておらず、製造業を中心に減速基調で推移しました。また、原燃料価格や人件費の上昇等に伴う物価上昇圧力の拡大、米中対立や中東情勢・ウクライナ情勢等の地政学リスクへの警戒感は依然として強く、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格及び海外製品市況の下落に伴う販売価格の下落に加え、景気減速に伴う需要減退や南陽事業所の定期修繕、四日市事業所のプラントトラブルの影響を受け販売数量が減少したことから、7,479億円と前年同期に比べ467億円（5.9%）の減収となりました。営業利益は、在庫受払差が大幅に悪化し販売数量も減少しましたが、ナフサや石炭等の原燃料価格下落を背景とした交易条件の改善により、596億円と前年同期に比べ7億円（1.1%）の増益となりました。経常利益は、円安進行に伴う為替差益を計上しましたが、687億円と前年同期に比べ36億円（5.0%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、414億円と前年同期に比べ49億円（10.7%）の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

石油化学事業

エチレンは、四日市事業所プラントのトラブルによる生産量減少により、出荷が減少しました。プロピレンは、コンビナート内需要増加が四日市事業所プラントのトラブルによる生産量減少を上回り、出荷が増加しました。キュメンは、四日市事業所にて非定修年による生産量増加に伴い出荷が増加しました。また、ナフサ価格の下落により、エチレン及びプロピレンの販売価格は下落しました。海外市況下落の影響を受け、キュメンの販売価格は下落しました。

ポリエチレン樹脂は、様々な業界で需要が低迷しており、国内輸出ともに出荷が減少しました。輸出販売価格は、EVA樹脂を中心に海外市況の悪化を背景にして下落しました。クロロプレンゴムは、国内輸出とも需要低迷で出荷が減少しましたが、国内価格は原燃料高騰を、輸出価格は円安進行などを背景に上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ168億円（10.5%）減少し1,432億円となり、営業利益は、ナフサ等原燃料価格下落に伴いポリエチレン樹脂等の交易条件が改善したものの、在庫受払差の悪化や、販売数量の減少により、前年同期に比べ17億円（15.8%）減少し89億円となりました。

ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、定期修繕等による生産量の減少に伴い出荷が減少しました。一方、価格是正により国内価格は上昇し、海外市況の下落により輸出価格は下落しました。塩化ビニルモノマーは、定期修繕等による生産量の減少に伴い出荷が減少しました。塩化ビニル樹脂は、国外出荷が増加しました。また、海外市況の下落を反映し塩ビ製品の海外販売価格は下落しました。

セメントは、需要低調により国内輸出ともに出荷が減少しましたが、国内販売価格は上昇しました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、前年同期並みの出荷となりましたが、中国ゼロコロナ政策を背景とした需要減退により下落した海外市況が回復せず販売価格は下落しました。ヘキサメチレンジイソシアネート（HDI）系硬化剤は、中国における建築・土木用途等、世界的な需要低迷を背景に市況が下落し、販売価格が下落しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ405億円（13.3%）減少し2,646億円となり、営業利益は、在庫受払差が悪化したものの、ナフサや石炭等の原燃料価格下落に伴い交易条件が改善したことにより、前年同期に比べ112億円増加し24億円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、世界的な景況感悪化に伴う需要減少の影響で出荷が減少し、海外市況の下落により販売価格が下落しました。臭素は、生産能力増強に合わせ主に海外での拡販を行い出荷が増加しましたが、海外市況下落を受けて販売価格は下落しました。

計測関連商品は、米国及び中国向けで液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少しました。診断関連商品は、国内外で自動ヘモグロビン分析装置及び関連試薬の出荷が増加しましたが、国内向けで遺伝子検査試薬の出荷が減少しました。

ハイシリカゼオライトは、需要回復により自動車用途を中心に出荷が増加し、円安進行により販売価格は上昇しました。ジルコニアは、装飾用途・歯科用途で出荷が減少しましたが、円安進行及び価格是正により販売価格は上昇しました。石英ガラスは、半導体需要の減速により出荷が減少しましたが、円安進行及び価格是正により販売価格は上昇しました。電解二酸化マンガンは、欧州・アジア地域での出荷が増加し、円安進行及び価格是正により販売価格は上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ64億円（3.2%）減少し1,944億円となり、営業利益は、為替の影響や石炭等の原燃料価格下落に伴い交易条件が改善したものの、在庫受払差の悪化や石英ガラス、ジルコニア等の出荷減少により、前年同期に比べ128億円（29.3%）減少し308億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野において受注した国内外の大型案件の工事が概ね順調に推移し、メンテナンスや設備保有型サービスなどのソリューションサービスも好調であったことから、売上高が増加しました。

建設子会社の売上高は増加しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ141億円（14.5%）増加し1,107億円となり、営業利益は、前年同期に比べ38億円（32.4%）増加し155億円となりました。

そ の 他 事 業

運送・倉庫、検査・分析、情報処理等その他事業会社の売上高は増加しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ29億円（9.1%）増加し350億円となり、営業利益は前年同期に比べ1億円（4.3%）増加し20億円となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は約163億円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりであります。

重要な設備の新設等

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
Tosoh (Vietnam) Polyurethane Co., Ltd.(仮称)	ベトナム	クロル・ アルカリ	粗MDIスプ リッター新設	15,000	68	自己資金及 び借入金	2023年 10月	2026年 10月	100,000 トン/年

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	900,000,000
計	900,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2024年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	325,080,956	325,080,956	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数は 100株でありま す。
計	325,080,956	325,080,956		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2023年12月31日		325,080		55,173		44,176

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日である2023年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

(2023年9月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,630,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 317,752,700	3,177,527	
単元未満株式	普通株式 697,756		
発行済株式総数	325,080,956		
総株主の議決権		3,177,527	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,500株(議決権45個)含まれております。
2 「単元未満株式」欄には当社所有の自己株式6株が含まれております。

【自己株式等】

(2023年9月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東ソー株式会社	東京都港区芝3-8-2	6,630,500		6,630,500	2.04
計		6,630,500		6,630,500	2.04

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は、6,631,800株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2023年10月1日から2023年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,153	136,103
受取手形、売掛金及び契約資産	292,069	297,949
商品及び製品	154,143	164,531
仕掛品	32,443	20,796
原材料及び貯蔵品	70,544	70,549
その他	38,968	59,340
貸倒引当金	698	821
流動資産合計	707,625	748,448
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	122,585	122,899
土地	68,234	68,251
その他（純額）	167,123	185,341
有形固定資産合計	357,944	376,492
無形固定資産	10,461	10,820
投資その他の資産		
投資有価証券	57,737	64,810
退職給付に係る資産	33,949	34,571
その他	27,011	28,927
貸倒引当金	478	489
投資その他の資産合計	118,220	127,819
固定資産合計	486,625	515,132
資産合計	1,194,251	1,263,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,903	136,437
短期借入金	149,340	158,740
未払法人税等	8,442	10,449
引当金	11,764	10,887
その他	43,860	52,119
流動負債合計	336,312	368,633
固定負債		
長期借入金	27,390	28,162
引当金	3,860	1,271
退職給付に係る負債	20,411	20,335
その他	12,077	15,843
固定負債合計	63,740	65,612
負債合計	400,052	434,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,347	44,350
利益剰余金	622,995	638,875
自己株式	9,903	9,787
株主資本合計	712,612	728,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,960	14,696
繰延ヘッジ損益	3	4
為替換算調整勘定	8,669	18,876
退職給付に係る調整累計額	7,558	6,647
その他の包括利益累計額合計	26,191	40,225
新株予約権	89	42
非支配株主持分	55,305	60,454
純資産合計	794,198	829,334
負債純資産合計	1,194,251	1,263,581

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	794,586	747,889
売上原価	629,260	580,640
売上総利益	165,325	167,249
販売費及び一般管理費	106,425	107,697
営業利益	58,900	59,551
営業外収益		
受取利息	471	671
受取配当金	1,799	1,609
為替差益	6,692	5,444
持分法による投資利益	2,013	1,330
その他	3,956	2,240
営業外収益合計	14,932	11,295
営業外費用		
支払利息	1,034	1,781
その他	495	393
営業外費用合計	1,529	2,174
経常利益	72,302	68,672
特別利益		
固定資産売却益	979	80
投資有価証券売却益	818	211
特別利益合計	1,797	292
特別損失		
固定資産売却損	29	82
固定資産除却損	1,666	1,286
投資有価証券売却損	1	-
投資有価証券評価損	137	-
減損損失	3	-
本社移転費用	-	306
特別損失合計	1,837	1,675
税金等調整前四半期純利益	72,263	67,289
法人税等	22,342	20,211
四半期純利益	49,920	47,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,606	5,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,314	41,367

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	49,920	47,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,204	4,735
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	14,630	10,515
退職給付に係る調整額	574	926
持分法適用会社に対する持分相当額	437	800
その他の包括利益合計	13,284	15,128
四半期包括利益	63,205	62,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,093	55,402
非支配株主に係る四半期包括利益	5,112	6,803

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<p>連結の範囲の重要な変更</p> <p>第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であったトーソー・バイオサイエンス・ウィスコンシン, Inc. は、同じく当社の連結子会社であるトーソー・バイオサイエンス LLCを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。</p>

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<p>税金費用の計算</p> <p>税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。</p>

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の銀行借入れ等に対する保証債務は下記のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
デラミンB.V. 従業員	13,440千ユーロ 1,958百万円	7,000千ユーロ 1,099百万円
計	0	0
	1,958	1,099

(注) 上記金額は契約に基づく他社分担保証金額を控除した金額であり、保証総額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
	3,270百万円	2,199百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
受取手形		915百万円
電子記録債権		1,222
支払手形		297
電子記録債務		221

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
減価償却費	31,817百万円	32,518百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年5月12日 取締役会	普通株式	利益剰余金	15,912	50.00	2022年3月31日	2022年6月3日
2022年11月1日 取締役会	普通株式	利益剰余金	12,734	40.00	2022年9月30日	2022年12月2日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年5月12日 取締役会	普通株式	利益剰余金	12,734	40.00	2023年3月31日	2023年6月2日
2023年11月2日 取締役会	普通株式	利益剰余金	12,738	40.00	2023年9月30日	2023年12月1日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロール・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	159,952	305,150	200,766	96,660	32,056	794,586		794,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,315	43,183	18,860	20,919	47,781	245,060	245,060	
計	274,267	348,334	219,627	117,580	79,837	1,039,647	245,060	794,586
セグメント利益 又は損失()	10,559	8,837	43,569	11,677	1,930	58,900		58,900

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処
理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロール・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	143,159	264,629	194,409	110,720	34,971	747,889		747,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94,492	35,196	16,400	10,579	48,426	205,095	205,095	
計	237,652	299,825	210,809	121,300	83,397	952,984	205,095	747,889
セグメント利益	8,888	2,409	30,782	15,458	2,013	59,551		59,551

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処
理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニア リング		
オレフィン	96,017	-	-	-	-	96,017
ポリマー	63,934	-	-	-	-	63,934
化学品	-	189,170	-	-	-	189,170
ウレタン	-	108,177	-	-	-	108,177
セメント	-	7,802	-	-	-	7,802
バイオサイエンス	-	-	43,541	-	-	43,541
有機化成品	-	-	57,769	-	-	57,769
高機能材料	-	-	99,455	-	-	99,455
エンジニアリング	-	-	-	94,101	-	94,101
その他	-	-	-	-	32,056	32,056
顧客との契約から 生じる収益	159,952	305,150	200,766	94,101	32,056	792,027
その他の収益	-	-	-	2,559	-	2,559
外部顧客に対する 売上高	159,952	305,150	200,766	96,660	32,056	794,586

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニア リング		
オレフィン	85,499	-	-	-	-	85,499
ポリマー	57,660	-	-	-	-	57,660
化学品	-	157,177	-	-	-	157,177
ウレタン	-	99,027	-	-	-	99,027
セメント	-	8,423	-	-	-	8,423
バイオサイエンス	-	-	44,117	-	-	44,117
有機化成品	-	-	54,406	-	-	54,406
高機能材料	-	-	95,885	-	-	95,885
エンジニアリング	-	-	-	105,988	-	105,988
その他	-	-	-	-	34,971	34,971
顧客との契約から 生じる収益	143,159	264,629	194,409	105,988	34,971	743,157
その他の収益	-	-	-	4,732	-	4,732
外部顧客に対する 売上高	143,159	264,629	194,409	110,720	34,971	747,889

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	145円52銭	129円95銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	46,314	41,367
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	46,314	41,367
普通株式の期中平均株式数(千株)	318,279	318,335
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	145円46銭	129円93銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)	115	51
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

第125期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）中間配当については、2023年11月2日開催の取締役会において、2023年9月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当の総額	12,738百万円
1株当たりの金額	40円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2023年12月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年2月13日

東ソー株式会社
取締役会御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本健太郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡邊 崇

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 瀨口 幸一

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東ソー株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東ソー株式会社及び連結子会社の2023年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。